

海上自衛隊第1術科学校温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
海上自衛隊 第1術科学校
- (2) 事業所の所在地
広島県江田島市江田島町国有無番地
- (3) 業種
行政機関 (8221)
- (4) 事業所位置図
別図のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30(2018)年度を基準年度とし、令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当校は、環境の保全を事業の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献する。

特に、環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、温室効果ガスの排出抑制に努めていく。

2 方針

- ・ 省エネルギー、省資源の推進
- ・ 新エネルギーの導入促進
- ・ エネルギー使用量の抑制
- ・ 廃棄物の排出抑制、リサイクルの推進
- ・ グリーン購入の推進
- ・ 学生、職員への環境意識の向上を図る

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
		基準年度 (平成30年度)	直近年度 (令和2年度)
二酸化炭素	燃料の使用	8,133	8,065
	他人から供給された電気の使用	6,044	4,926
合 計		14,177	12,991

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
		基準年度 (平成 年度)	直近年度 (平成 年度)
二酸化炭素			
合 計			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
		基準年度 (平成 年度)	直近年度 (平成 年度)
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			
合 計			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成30年度)	削減目標		目標年度 (令和8年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	14,177	5.0	709	13,468
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計	14,177	5.0	709	13,468
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	排出量を年1%削減			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量を年平均1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラ等の効率的運転 ・給湯器等の効率的運転 ・老朽配管の更新 ・ボイラ分散化
2	電気使用量の削減	電気使用量を年平均1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休憩時の照明消灯 ・冷暖房時の温度設定を徹底 ・照明器具を省エネ型へ更新 ・空調機を省エネ型へ更新

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	水使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・節水型水栓へ更新 ・節水の呼びかけ
2	紙使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・封筒の再利用 ・用紙の裏紙使用
3	環境意識の高揚		<ul style="list-style-type: none"> ・環境月間、環境週間の設定 ・環境保全に関するポスターの掲示

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

省エネ推進組織
<p>管理総括者（総務部長）</p> <p>管理企画推進者（管理課長） 実務担当者（環境保全専門官）</p> <p>管理責任者（各部長等）</p> <p>実施責任者（各課長等）</p>

(2) 実施状況の点検・評価

- ・校内LAN等により、逐次毎月エネルギー使用量のグラフを提示し、エネルギー削減意識高揚を継続的に図っていく。

(3) 計画書等の公表

- ・事務所に備え付けて閲覧できるようにする。